

いさドラゴンカップ2026大会要項

- ◇目的 ドラゴンボートレースを通して、郷土の自然と共生する心、家族や仲間と交流協働する心、水辺のスポーツを楽しむ心、そして伊佐を愛する心を育むことを目的とします。
- ◇主催 伊佐市ドラゴンボートレース実行委員会
- ◇共催 伊佐市・伊佐市教育委員会・伊佐市カヌー協会
- ◇協力 伊佐市商工会・伊佐市青年団・大口建設業協同組合・伊佐市スポーツ協会
伊佐市観光特産協会・川内川上流漁業協同組合・湯之尾校区コミュニティ協議会
- ◇後援 日本ドラゴンボート協会・日本カヌー連盟・鹿児島県カヌー協会
国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所
- ◇期日 令和8年4月26日（日）
開会式：8時30分 レース開始：9時 閉会式予定：午後3時30分
※参加チーム数により、閉会式の予定時刻は変動します。
- ◇会場 伊佐市菱刈カヌー競技場（湯之尾滝上流川内川）
- ◇種目 ○チャンピオン・オープン ○レディース
○中学生の部 ○小学生の部
- ◇距離 全種目250M
- ◇編成 監督1人（兼務可）、漕手8人以内（小学生は10人以内）
鼓手・舵手各1人、交代要員2人の合計13人以内
- ◇表彰 上位3位まで表彰する。
- ◇申込期限 令和8年4月13日（月）
※申し込みフォームからお願いします。（QRコードから）
- ◇参加料 1チーム 8,000円
中学生・小学生の部 無料
参加申込が確認できたチームに、後日郵送にて振込先をお知らせいたします。
参加料は、金融機関での振込みでお願いし、必ず監督会議までに納入をお願いします。なお大会当日に荒天等により中止となった場合は、参加料及び弁当代は返金できません。
- ◇申込方法 Googleフォームにてお申込み後、後日メールにて届いた申込書に必要事項をご記入し提出してください。
- ◇お問合せ 伊佐市ドラゴンボートレース実行委員会
e-mail: dragoncup13@gmail.com
- ◇保険加入 各チームで事前に保険加入をお願いします。

- ◇監督会議 日時：令和8年4月15日（水）18時30分～
場所：カヌー競技場艇庫2階会議室
(大会レース組合せ・練習日調整と練習時の注意説明)
※必ず1チーム1人は、ご参加ください。
監督会議に出席しないチームは、指定期間中の練習はできません。
- ◇公式練習 4月19日(日)13時から17時まで
練習時間帯は15日の監督会議で決定します。なお監督会議に出席できないチームは、監督会議翌日以降にブログにてご確認ください。
また19日の13時と15時から舵手講習会を行います。
- ◇練習 ①4月16日から4月25日までを指定期間とし、4月15日開催の監督会議で各チームの練習日を決定します。
※なお、練習計画は実行委員会ブログにて公表しますので、監督会議以降の練習予定の変更や空いている練習艇の確認を行ってください。
【ブログ】 いさドラゴンカップ・スタッフのブログ
【Facebook】 いさドラゴンカップ since2002
- ◇その他 ②ライフジャケット着用、監督（保護者）の監視を、必ず行うこと。
③練習で使用した用品は、必ず説明会で指示を受けた所定の場所に戻すこと。
① 練習・大会当日とも、大会関係団体は参加者に対して応急処置以上の責任は負いません。また会場内での盗難、紛失、破損などに対しても責任を負いかねます。
② 市外者用テント貸出（敷物なし）は、完全予約制有料（3,000円）で限定20張です。（焼肉禁止エリア内設置）
③体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）は、自主的に参加を見合わせる事。
④大会当日に伊佐市商工会青年部による、フードコーナーもあります。
⑤会場内で焼肉などを行う場合は、持ち込みテントで河川敷地堤防側に設置をお願いします。
⑥選手は、飲酒禁止とします。
⑦大会中止の判断は、当日朝（午前5時）もしくは前日までに判断し、各チームへ連絡します。※大会HPなどでもご確認ください。

いさドラゴンカップを楽しむために、まずは基本知識を！

ホームページ「ドラゴンボート 虎の巻」をチェック！

競 技 規 則

(2026. 3. 1)

- 1 チャンピオン・オープン・レディースの選手は小学生以上とし、レディース漕手以外の選手の性別は問わない。
※1チーム10名（漕手8名以内、鼓手1名、舵手1名）
- 2 中学生の部は、選手を中学生以下（小学生を含む）とし、鼓手・舵手は大人でもかまわない。※1チーム10名（漕手8名以内、鼓手1名、舵手1名）
- 3 小学生の部は、選手を小学生のみとし、鼓手・舵手は大人でもかまわない。
※1チーム12名（漕手10名以内、鼓手1名、舵手1名）
- 4 競技に参加する選手は、ライフジャケットを着用しなければ乗船を許されない。また飲酒禁止とし、以上の確認と責任は監督が負う。
- 5 用具（太鼓・舵・パドル）については、大会事務局が準備したものか自前のパドルを使用する。乗船するときにチームの責任において用具の確認を行い、破損等がある場合には係員に申し出る。またパドルについては、漕手用の予備パドルを含めて10本のパドルをもって乗船する。
- 6 レースは原則として5艇で行うが、都合により3～6艇で行う場合もある。
- 7 チームは15分前までに編成所に集合し指示に従い乗船し、乗船後はすみやかにスタート地点に向かい、スタート地点の後方で待機する。
- 8 スタートは、「パドルを上げー」の後、「レディース・ゴー」の合図で行う。このとき漕手はパドルを水面上に上げて待つこと。
- 9 フライングがあった場合は再スタートとし、2回フライングを犯したチームはそのレースの最下位とする。
- 10 漕手は龍舟の漕手用腰掛け板に腰掛けた状態での漕法とし、片膝をついての漕法及び立ち上がったの漕法については禁止する。違反したチームは、そのレースの最下位とする。
- 11 舵を船体からはずして操作してはならない。違反したチームは、そのレースの最下位とする。
- 12 龍舟が自船のコース両脇のブイを越えた場合は、コースアウトによりそのレースの最下位とする。
- 13 レース中に、相手チームに競技妨害となるような行為をしたチームは、そのレースの最下位とする。
- 14 ゴールは、船の先端がゴールラインに達したときとする。
- 15 チャンピオン・オープンの部は、各選抜レースの1位及び2位のタイムにより、10または12チームをチャンピオンの部に進め、その他のチームはオープンの部としてレースを行う。
- 16 チャンピオンの部の準決勝レース組合せは、選抜レースの結果により行う、また準決勝の結果により決勝レースを行う。
- 17 オープン部は選抜レースの結果により準決勝の組み合わせを行い、準決勝レースの1位及び2位のタイムにより、5または6チームによる決勝レースを行う。
- 18 レディースの部は、予選の結果により決勝及び順位決定レースを行う。
- 19 中学生の部並びに小学生の部は、2回のレースのタイムのうち早いタイムにより、上位5チームによる決勝レースを行う。
- 20 各部の決勝レースに進むチーム数は、レースの進行を考慮し大会事務局が決定する。
- 21 審判に対する不服申し立ては認めない。その判定は最終のものとする。